



シャルル・デュトワ 指揮
大阪フィルハーモニー交響楽団

リヒャルト・シュトラウス

サロメ

[オペラ]

演奏会形式 / 全 1 幕

原語上演・日本語字幕付き

音楽:リヒャルト・シュトラウス

台本:ヘドヴィッヒ・ラハマン

原作:オスカー・ワイルド『サロメ』

リカルダ・メルベート [サロメ]

福井 敬 [ヘロデ] 加納悦子 [ヘロディアス] 友清 崇 [ヨカナン]

望月哲也 [ナラボート] 中島郁子 [ヘロディアスの小姓/奴隷]

高田正人 [ユダヤ人 1]、菅野 敦 [ユダヤ人 2]、児玉和弘 [ユダヤ人 3]、岡本泰寛 [ユダヤ人 4]、畠山 茂 [ユダヤ人 5]

北川辰彦 [ナザレ人 1 / カップドキア人] 秋谷直之 [ナザレ人 2] 大塚博章 [兵士 1]、齊木健詞 [兵士 2]

2019年6月8日(土) 15:00 開演 (14:00 開場) フェスティバルホール

上演時間: 約 1 時間 40 分

※本公演は休憩がございません。開演時間を過ぎますとご自席にお座りいただけません。時間に余裕をもってご来場ください。

【チケット料金 (全席指定・税込)】

S 席 8,500 円、A 席 7,000 円、B 席 6,000 円、BOX 席 14,000 円、バルコニー BOX 席 (2 席セット) 17,000 円、学生席 1,000 円

※バルコニー BOX 席はフェスティバルホール チケットセンター 電話・窓口販売のみ

※学生席はフェスティバルホール チケットセンターのみの販売

(限定 100 席 / 25 歳以下 / 学生本人の名前でご予約ください / 当日指定席と引き換え / 引き換え時、学生証をご提示ください)

【お問い合わせ】フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221(10:00 ~ 18:00)

主催: 朝日新聞文化財団、朝日新聞社、大阪国際フェスティバル協会、大阪フィルハーモニー協会、フェスティバルホール

協賛: 朝日放送グループホールディングス、関電工、竹中工務店、豊田自動織機、西原衛生工業所

協力: 大阪芸術大学

【指揮者変更のお知らせ】

指揮を予定しておりました尾高忠明は健康上の理由により降板いたします。代わりましてシャルル・デュトワが指揮をいたします。何卒ご理解をいただきますようお願い申し上げます。

Richard Strauss SALOME

オペラ『サロメ』

19世紀末、リヒャルト・シュトラウス（1864-1949）がオスカー・ワイルドの戯曲「サロメ」のドイツ語訳を台本に作曲した一幕のオペラ。新約聖書に登場する女性、サロメ（ヘロディアスの娘）と洗礼者ヨハネの物語が題材。作曲は1903-05年、作曲は1903-05年、初演は1905年ドレスデン宮廷歌劇場。表題役のサロメは、少女らしさと狂気じみた淫蕩さ、可憐な声と強靱な声という両極端の演技表現が求められる難役。第4場の「サロメの（7つのヴェールの）踊り」はよく知られる。

1962年、第5回大阪国際フェスティバルにて日本初演。

あらすじ

- ◆1世紀頃の古代イスラエル。領主、ヘロデ・アンティパスの宮殿。中庭に空井戸。衛兵隊長ナラポートは、ヘロディアス（ヘロデの妻）の連れ子のサロメに恋慕している。井戸に幽閉されている預言者ヨカナンがヘロデ夫妻の非行を糾弾している。
- ◆その声に興味を抱いたサロメは、ヨカナンを井戸から出すようナラポートに命じる。
- ◆ヨカナンに恐れを抱きつつも、魅了され、夢中になるサロメ。ヨカナンに口づけを求めるが、彼はサロメを罵倒し拒み続ける。ナラポートは耐え切れず自刃する。ヨカナンはサロメに「呪われよ！」と言い残して、自ら井戸の中へ戻る。
- ◆ヘロデが不機嫌なサロメをなだめようとする。ユダヤ人やナザレ人が預言者を巡って議論している。辟易したヘロデはサロメに「わしのために踊ってくれたら欲しいものは何でも与えよう」と約束する。サロメの望みはただ一つ。それを手に入れるため、サロメは踊る。そしてついに・・・。

■シャルル・デュトワ（指揮）

Charles Dutoit, Conductor

ローザンヌ生まれ。25年にわたるモントリオール響との活動で同団を「フランスのオケ以上にフランス的」な超一流に成長させ、一躍世界の寵児となった。フランス国立管、フィラデルフィア管などのポストも歴任。1996年以来N響の常任指揮者や音楽監督を務め、現在名誉音楽監督。シカゴ響、ベルリン・フィルをはじめ名オーケストラに定期的に招かれる人気指揮者で、録音も数々の栄誉に輝いている。



© Kiyotane Hayashi

■リカルダ・メルベート（ソプラノ）

Ricarda Merbeth, Soprano

ドイツ出身。1999年にウィーン国立歌劇場のベートーヴェン「フィデリオ」マルチェリーネ役でデビュー。2004年R.シュトラウス「ダフネ」で大成功を収め、一躍世界にその名を輝かせた。2000年パイロット音楽祭にデビュー。その他、ハンブルク州立歌劇場、バイエルン州立歌劇場、ミラノ・スカラ座、ベルリン・ドイツ・オペラ、パリ・オペラ座など世界の主要歌劇場に出演し、ワーグナーやR.シュトラウスの代表的歌手として活躍。



© 飯島隆

■大阪フィルハーモニー交響楽団

Osaka Philharmonic Orchestra

1947年朝比奈隆を中心に「関西交響楽団」という名称で生まれ、1960年改称。創立から2001年までの55年間朝比奈隆が常任指揮者・音楽総監督を務めた。大植英次音楽監督、井上道義首席指揮者の後を受け、尾高忠明が2018年4月音楽監督就任。現在、フェスティバルホールを中心に全国各地で演奏活動を展開。2017年には、創立70周年記念「バースタイン/ミサ」（国内23年ぶりの上演）が高い評価を受け、文化庁芸術祭・優秀賞ほか数々の賞に輝いた。



写真左上より

ヘロデ：福井 敬（テノール）
 ヘロディアス：加納悦子（メゾソプラノ）
 ヨカナン：友清 崇（バリトン）
 ナラポート：望月 哲也（テノール）
 ヘロディアスの小姓/奴隷：中島 郁子（メゾソプラノ）
 ユダヤ人1：高田 正人（テノール）
 ユダヤ人2：菅野 弘（テノール）
 ユダヤ人3：児玉和弘（テノール）
 ユダヤ人4：岡本 泰寛（テノール）
 ユダヤ人5：畠山 茂（バスバリトン）
 ナザレ人1/カッパドキア人：北川 辰彦（バスバリトン）
 ナザレ人2：秋谷 直之（テノール）

■ご予約・お問い合わせ：

フェスティバルホール チケットセンター 06-6231-2221(10:00～18:00)
 フェスティバルホール オンラインチケット <https://www.festivalhall.jp>
 大阪フィル・チケットセンター 06-6656-4890 <http://www.osaka-phil.com/>
 ※フェスティバルホール オンラインチケットは事前登録が必要です

■プレイガイド：

チケットぴあ 0570-02-9999 【Pコード：130-686】 <https://t.pia.jp/>
 ローソンチケット 0570-000-407（オペレーター予約 10:00-20:00）
 0570-084-005（Lコード：53254） <http://l-tike.com/>
 CN プレイガイド 0570-08-9990 <http://cncn.jp/>
 e+（イープラス） <http://eplus.jp/>
 セブンチケット <http://7ticket.jp/sc/21nh>

朝日カルチャーセンター中之島 『サロメ』満喫講座 会場：フェスティバルホール

※指揮者変更により、当初の予定を変更して開催します。
 ※定員になり次第締め切ります。

講座=6/7(金)と公演=6/8(土)のセット券を販売します

- ◆講座開催日時：2019年6月7日(金) 14:00-15:40 (予定) ◆料金(6/8の公演5席チケット含む)：9,800円(消費税込み)
- ◆内容：13:45集合/14:00-15:00リハーサル見学/15:10-15:40講座(「サロメ」制作について)
- ◆講師：福山修(大阪フィルハーモニー交響楽団・楽団事務局長兼演奏事業部長)
- ◆ご予約：朝日カルチャーセンター中之島(06-6222-5224) ◆ホームページ：<http://www.asahiculture.jp/nakanoshima>